

令和7年度中小企業診断士第2次試験 事例Ⅰ

第1問(配点20点)

【S】

① 木材加工技術、② 地域の産学関係者との幅広いネットワーク等。

【W】

① 消費者向けビジネスの経験不足、② 戦略への社内の理解不足等。

【O】

① 安心・安全な素材のニーズの増加、② 「木育」のニーズの増加等。

【T】

内装材市場における① 企業間の競争激化、② 公共案件の不安定性等。

第2問(配点30点)

行った取り組みは、従来のルートとは異なる新たな販売チャネルの構築である。20代から40代の教育熱心な子育て家庭との接点をもつために、大手ECサイトへ出店した。工夫は、① SNSを活用した情報発信や子育てイベントへの出展等による認知度向上、② 地元の大学との教育連携の推進による製品開発サイクルの加速、等である。

本解答例は学校法人大原学園が独自に作成したもので、予告なしに内容を変更する場合があります。また、本解答例は学校法人大原学園が独自の見解で作成・提供しており、試験機関による本試験の結果等について保証するものではありません。本解答例の著作権は学校法人大原学園に帰属します。無断転載・無断複製を禁じます。

受 験 番 号											
2	5	0					-				

総合計採点欄			
			点

第3問(配点20点)

顧	客	別	事	業	部	制	組	織	を	助	言	す	る	。	理	由	は	、	①
顧	客	別	の	特	性	に	応	じ	た	社	員	配	置	や	育	成	制	度	の
導	入	、	②	次	世	代	リ	ー	ダ	ー	の	育	成	、	③	専	門	人	材
の	確	保	・	育	成	、	等	の	施	策	に	よ	る	新	市	場	や	事	業
機	会	の	探	索	に	最	も	適	し	た	組	織	体	制	で	あ	る	た	め。

第4問(配点30点)

企	業	理	念	は	、	自	社	の	価	値	創	造	の	取	組	を	加	え	た
も	の	へ	再	定	義	す	る	よ	う	助	言	す	る	。	地	元	の	木	材
の	新	た	な	価	値	を	創	造	す	る	こ	と	の	魅	力	を	、	顧	客
や	協	力	先	に	加	え	て	自	社	従	業	員	と	も	共	有	し	、	浸
透	を	図	る	。	こ	れ	に	よ	り	、	既	存	事	業	を	支	え	て	き
た	社	員	へ	の	新	規	事	業	の	必	要	性	の	理	解	を	促	進	し
さ	ら	な	る	成	長	と	持	続	可	能	性	の	確	保	を	目	指	す	組
織	文	化	の	醸	成	を	図	る	。										

本解答例は学校法人大原学園が独自に作成したもので、予告なしに内容を変更する場合があります。また、本解答例は学校法人大原学園が独自の見解で作成・提供しており、試験機関による本試験の結果等について保証するものではありません。本解答例の著作権は学校法人大原学園に帰属します。無断転載・無断複製を禁じます。